

ニューズレター雪氷北信越

No. 22 平成3年11月7日

日本雪氷学会北信越支部発行

目次

理事・幹事合同会議報告／技術部会・講演会・学習会案内／学習会報告
シンポジウム案内／その他

理事幹事会

平成3年度第2回理事・幹事合同会議報告

平成3年9月21日(土)15時より、長岡市『中越婦人会館』において本年度第2回理事・幹事合同会議が開催された。前回議事録の確認の後、本年度の支部の学習会、見学会等の事業計画の検討と進捗状況が報告された。技術処理部会について早川理事から雪崩の力学研究技術部会の設立の提案があり承認された。次に長野県の会員の増強と活動の活性化について話し合わせ、12月に長野市でスキー場と雪崩対策をテーマにした講演会を開くことが提案され承認された。また来年9月のIGS長岡シンポジウムの前日に雪崩対策のシンポジウムを日本雪氷学会北信越支部主催で開くことについて話があり、次回までに実行計画案を作ることとなった。その他日米科学技術協力-雪崩・地滑り・土石流ワークショップ-の案内や学会本部の動向についての報告があった。

学習会

新潟地区学習会のお知らせ

緊急

日時 11月16日(土) 16:30～18:00

場所 長岡自治会館 長岡市西神田町2丁目3-1

(TEL 0258-33-7290)

上越新幹線または信越本線長岡駅下車

バス黒条または北長岡車庫行昭和通下車

話題 「中国、チベット西南部雪氷紀行」

今年の8月、中国で開かれたIGS国際シンポジウム及びそれに続くエクスカーションに参加された田村盛彰会員(長岡工高)に、チベット高原の自然を中心に旅程の一端を多数のスライドで紹介して戴きます。大勢の皆様のご参加をお待しています。

連絡先 北陸農業試験場 地域基盤研究部 気象資源研究室
高見晋一 TEL.0255-23-4131

技術部会**雪崩の力学研究技術部会のお知らせと委員の募集**

この度9月21日の支部理事幹事合同会において、標記の技術部会の設立が承認されました。趣旨と活動方針（案）は下記のようなので、御興味のある方はお気軽にご参加戴きますようご案内申し上げます。

趣旨：雪氷学会北信越支部では技術部会の設立を奨励している。しかしながら現在の所屋根雪処理技術部会一つのみが設立されているに過ぎない。ところで当北信越支部会員の間には雪崩に関する関心が高く、また雪崩研究者も多い。そこで雪崩に関する技術部会を設立するならば多数の参加者が見込まれる。ただし雪氷学会本部にも雪崩分科会が存在し、活発な活動を続けている。そこで支部において部会活動を始めるには、目的を明確化する必要がある。また当面活動を開始するについては、研究者の関心の高いテーマからにしたい。こういった点を考慮して首題のような技術部会を設立したい。本技術部会を成功裡に運営することができるなら、将来は雪崩の関連するテーマの技術部会へとつなげていけるものと思われる。

活動方針：当技術部会の活動は部会員の雪崩の力学に関する研究の発表について、その内容を十分理解しあい、かつ建設的な批評を加えあうことを目的として行う。その部会としての発表会はできるだけ学習会を兼ねるものとする。

参加のご案内：第一回会合が11月16日（土）長岡技術科学大学機械建設棟8階会議室で行われます。引き続いて技術部会兼学習会を開催致します（学習会のお知らせ参照）。この日において戴くかまたは、長岡技術科学大学早川典生（Tel0258-46-6000、Fax0258-47-0019）に御連絡下さい。

学習会**新潟地区学習会のお知らせ****緊急**

北信越支部に研究者が多いようですので、雪崩の力学に関する学習会を数回予定しております。第一回を下記の要領で開催致します。

記

日時：1991年11月16日（土）14:30-

会場：長岡技術科学大学機械建設棟8階会議室

講師：長岡雪氷防災実験研究所 主任研究員 納口恭明氏

講演会

雪とスキー場に関する講演会

ー長野冬季オリンピックに向けてー

当北信越支部には長野県も含まれていますが、長野県の会員は大変少ないのが現状です。その長野県において周知のように1998年に冬季オリンピックが開催されることになりました。そこで、1972年の札幌冬季オリンピックの成功には、雪氷学会の会員の知識とデータが大いに貢献したことを思い起こし、この長野冬季オリンピックの成功を祈念すると共に、長野県における雪氷学会員増強のキャンペーンとして下記の要領で講演会を開催致します。

記

日時：1991年12月7日（土） 14:00～17:00

会場：長野市西長野 6 - Ⅱ

信州大学教育学部中校舎 4階第一会議室

入場は自由です。テキストもあります。

主催：日本雪氷学会北信越支部

プログラム

開会の辞

日本雪氷学会北信越支部長・長岡技術科学大学教授 梅村晃由

講演

「よりよいスキー場を作る雪の話」

富山大学理学部教授 対馬勝年

「スキー場の雪崩について」

新潟大学積雪地域災害対策研究センター助教授 和泉 薫

「長野県における災害雪崩について」

科学技術庁防災科学技術研究所

長岡雪氷防災実験研究所研究室長

山田 積

学習会

新潟地区学習会のお知らせ

日時 12月11日（水） 16時～18時

場所 北陸農業試験場 上越市稲田1丁目2-1

(TEL 0255-23-4131)

信越本線高田駅下車

バス番町、岡田又はリージョンプラザ行

稲田2丁目下車

話 題 「生物現象による積雪予測」

長岡市の酒井興享氏は長年、かまきりの卵のうの位置と最新積雪との関係を調べておられます。今回はそのお話を中心に生物の予知能力一般についても考えてみたいと存じます。大勢の皆様の御参加をお待ちしています。

連絡先 北陸農業試験場 地域基盤研究部 気象資源研究室
高 見 晋 一 TEL 0255-23-4131

学習会

第3回石川地区学習会のお知らせ

「北陸の降雪に含まれる無機科学成分の由来」

現在、温室効果気体とともに酸性雨・酸性雪が地球規模の環境問題として注目されている。北陸の雪を対象に酸性雪の科学成分とその由来について述べる。

講 師： 丁子哲治 金沢大学工学部 助手

日 時： 平成3年 12月 6日（金） 15：00～17：00

場 所： 金沢大学工学部 第一会議室（工学部正面 事務棟3階）

金沢市小立野 2-40-20（Tel. 0762-61-2101）

問い合わせ先：金沢大学土木建設工学科

宇治橋康行（Tel. 0762-61-2101 内線231） または

高瀬信忠（Tel. 0762-61-2101 内線243）

報告

福 井 学 習 会 の 報 告

H3年度第1回の学習会を福井県雪技術研究会と共催し盛会であった。

と き 平成3年7月23日（火）13:30～16:00

と ころ 福井県立図書館

内 容 1) 16mm 三八豪雪の記録

2) スイスの雪崩対策（スライド）

参 加 者 24名

三八豪雪の映写については、福井映画サークル

清水澄江さんと県立図書館斎藤清美さんの協力を得た。

（杉森）

雪崩を知る・予知する・予防する 長岡国際シンポジウム
 —— 21世紀のスキーリゾートをめざして ——

先の支部理事会において決定された、雪崩に関する国際シンポジウムは大沼顧問の意向を受け、実施の概要が次のように決まりました。

1. シンポジウムの名称は標記の通りとし、略称は「雪崩予知予防シンポジウム」とする。
2. シンポジウムの実行委員長は梅村支部長とし、若干名の実行委員を置く。
3. アメリカ、カナダ、スイス、フランス、日本から8人の講演者を招き、若干名のパネリストを加えてシンポジウムを行う。
4. 開催日は1992年9月11日（金）および12日（土）の2日間とし、会場は長岡産業交流会館とする。
5. 大会は日・英・仏・（独）語が用いられるが、日・英語に対する逐語通訳がつけられる。
6. 大会当日は参加者に講演資料を配布し、後日シンポジウム討論を含めた報告集を送付する。
7. 参加費として現在つぎの金額を予定している。

正会員：参加費 5,000円（資料・報告書代を含む）

懇親会費 10,000円

非会員：参加費 60,000円（資料・報告書代・懇親会費を含む）

特別会員および賛助会員：等級に応じ、次の数の参加者を正会員並とする。

特 A	5 名	1 級	3 名
特 B	4 名	2 級	2 名
		3 級	1 名

団体会員：非会員並とする。

なお、このシンポジウムの開催の主旨は次の通りであります。

開催主旨

積雪地の山間部では、大小の雪崩が頻発する。ある時は道路を塞ぎ、家屋を壊し、人命に損傷を与える。我が国では、通常、このような場所を避け、あるいは予防柵によって発生を防ぎ、それでも避けられない場合は、防護施設によって、道路や家屋を護る方策がとられる。しかし、広い地域

を利用の対象とする欧米においては、これらの方策だけでは対処しきれず、人工雪崩を起こして、不意に襲う雪崩の危険を除去している。

我が国においても、21世紀のリゾートを目指して、本格的なスキー場を建設しようとするとき、あるいは雪利用を求めて、大規模な貯雪を実行しようとするときは、人工雪崩を含む新しい雪崩対策の検討は不可避である。

この事情に鑑み、日本雪氷学会北信越支部は、国際雪氷学会が長岡市で開催されることを機会に、その前々日、世界の専門家数名と我が国の専門家を招き、2日間にわたって表記のシンポジウムを開催することとした。

スキー場および雪崩に関係する研究者および実務者の方々が、このシンポジウムに参加して得られるものは大きいと信じ、ふるって参加されることを期待する。

実行委員長 梅村晃由（日本雪氷学会北越支部長）

案内

「1992年国際雪氷学シンポジウム」

I G S ナガオカ シンポ 速報

◎第2回案内状「雪氷」に掲載：I G Sナガオカシンポの内容、参加手続き、申込用紙等を折り込んだ日本語版が「雪氷」1991年9月号、271-273ページに掲載されました。日本在住の参加者はこれにより参加手続きを済ませて下さい。

その他

『ニューズレター雪氷北信越』について

雪氷学会北信越支部では、支部会員への事業の案内や報告のために、今年度は毎奇数月10日前後に、ニューズレターを発行いたします。原稿を、下記の書式（できるだけワープロ原稿）で毎奇数月5日までに事務局にお送り下さい。

※書式 幅16.5cm, 1行: 33文字, 行数: 制限は設けないが手短に
字間: 2.5mm, 行間: 5.4mm

ニューズレターに関するお問い合わせは

長岡技術科学大学機械系 東 信彦 電話0258-46-6000 内線7120 まで

第3回水文・水資源学会現地見学会のご案内 “雪国を訪ねて”

雪は、水の自然界における一形態として、水文・水資源学会と大きな係わりを持っています。今回は雪に関する技術・研究が集中している長岡市周辺の雪関連施設の見学および雪と水資源をテーマにした研究会を計画しました。

長岡雪氷防災実験研究所・長岡技術科学大学では雪氷研究の最先端を、建設省信濃川工事事務所関連では大河津分水と建設省が配備した雪観測レーダを見学します。また、水資源依存型の消雪設備の一つ流雪溝の発祥の地「小出町」にてその実態を見るときともに、建設省の新機軸事業の一つ魚野川小出地区景観モデル事業の見学を行います。研究討論会は長岡技術科学大学において「雪と水資源」をテーマに地元のホットな話題提供のもと討論会を行います。奮ってご参加下さい。

1. 日時：1992年1月20日（月）～21日（火）

2. スケジュール

1月20日（月）

- 11：00 JR長岡駅集合（京都6：12、仙台7：26、東京9：08発で間に合います。）
- 11：40～13：00 信濃川大河津分水見学（記念館にて昼食）
- 13：40～14：20 建設省北陸地方建設局信濃川工事事務所薬師岳レーダ見学
- 14：40～15：30 長岡技術科学大学雪氷研究施設見学
- 15：30～18：00 研究討論会「雪と水資源」（会場は長岡技術科学大学）

第一部

- 1. 豪雪地方の除排雪対策と水資源
長岡技術科学大学教授 早川 典生

2. 建設省の導水事業について

建設省信濃川工事事務所長 前田 諭

第二部

1. 気象レーダ観測と雪害予測

長岡雪氷防災実験研究所 中尾 正義

2. 山地の積雪と水資源

農林水産省北陸農業試験場 横山宏太郎

3. 雪水文現象のリモートセンシング

長岡技術科学大学 小池 俊雄

18：15～19：30 懇親会（学内）

宿泊は長岡市内ホテル

1月21日（火）

8：30 ホテル集合

9：00～10：00 科学技術庁防災科学技術研究所
長岡雪氷防災実験研究所見学

11：20～12：00 小出町流雪溝および魚野川小出地区景観モデル事業見学

12：00 JR浦佐駅にて解散（東京方面12：36、新潟方面13：16）

3. 宿泊 ホテルニューグリーンパル

長岡市城内町1-3-2

TEL 0258-33-1111

（1泊朝食付5,000円、参加申込票によりお申ください。）

4. 参加費 懇親会費 3,000円

5. 参加申込：裏面参加申込票（コピーも可）により1991年11月30日迄にお申ください。

6. 連絡・問い合わせ先：〒940-21長岡市上富岡町1603-1

長岡技術科学大学

早川 典生

小池 俊雄

Tel. 0258-46-6000

Fax. 0258-47-0019

水文・水資源学会第3回現地見学会申し込み書

氏 名				
所 属				
連 絡 先	住所 〒 電話： 内線(), ファックス：			
参加状況 ○を付けて下さい	1月20日			1月21日
	見学会・研究討論会	懇 親 会	宿 泊	見 学 会